

日本仏教社会福祉学会 ニュースレター

No.35・36

■ 令和5(2023)年5月31日

■ 発行・編集 日本仏教社会福祉学会 事務局

CONTENTS

- ・ 巻頭言 日本仏教社会福祉学会 代表理事
 - ・ 令和4(2022)年度 日本仏教社会福祉学会 報告
 - ・ 令和4(2022)年度 日本仏教社会福祉学会第1回理事・役員会報告
 - ・ 令和4(2022)年度 日本仏教社会福祉学会第2回理事・役員会報告
 - ・ 令和4(2022)年度 日本仏教社会福祉学会第56回大会・総会報告
 - ・ 令和5(2023)年度 日本仏教社会福祉学会 新年度体制 活動予定
- ・ 事務局から
令和5(2023)年度 会員の皆様へ
日本仏教社会福祉学会学術大会(同朋大学)について

日本仏教社会福祉学会

発行日：令和5(2023)年5月31日
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大巖寺町200
淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
アジア仏教社会福祉学術交流センター内
日本仏教社会福祉学会事務局

TEL：043-265-9879 (代)
FAX：043-265-7339
E-mail info.jabsws@gmail.com

日本仏教社会福祉学会

新旧代表理事 ごあいさつ



日本仏教社会福祉学会
前代表理事 清水海隆

日本仏教社会福祉学会会員のみなさま、前代表理事の清水海隆です。

退任にあたり、ご挨拶申し上げます。在任中は学会運営にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、任期中において新型コロナウイルス感染症流行下の京都大会の延期はありましたが、その翌年は京都大会実行委員会のご努力によりオンライン大会が出来、さらに昨年度は東日本大震災後の宮城県女川町にて、感染症流行以前同様の対面大会を開催することが出来ました。会員各位ならびに関係各位のご協力のおかげと感謝いたしております。

本学会は、1966年度の第1回大会以来、昨年度は第56回を数え、学会誌も編集中ならびに合併号を含めれば、53号を数えています。このような歴史を有する本学会を今後とも継続発展させるべく、藤森雄介新代表理事の下、会員各位には研究活動の活性化、大会での成果発表、また新規会員獲得に、今後とも一層のご協力をお願いし、退任のご挨拶に代えさせていただきます。

どうもありがとうございました。



日本仏教社会福祉学会
代表理事 藤森雄介

日本仏教社会福祉学会
会員の皆様

この度、2023年4月1日より3年間本学会代表理事の任を担う事となりました、藤森雄介と申します。本学会には平成1998年に入会させて頂いてから、永く自身の研究の機会を頂ける場としてお世話になってまいりました。今回の選挙結果を受けて代表理事という重責を担う事に少なからず戸惑いもありましたが、私に投票して頂きました方々を始めとする皆様の期待に応えられるよう、職責を果たしていきたくと考えております。

少し私的な事を述べさせていただきます。私の研究の出発点は、福祉思想史や施設形成史と言ったいわゆる歴史研究ですが、2011年3月11日の東日本大震災以降は、現在進行形で実践の場に関わる寺院や僧侶の活動にも目を向ける事となりました。また同期間、仏教を主たる宗教とするアジア諸国のソーシャルワークを調査していく中で、その発展・展開に「仏教」の可能性が大いにある事を学ぶ機会を得ました。

そのような学びを通じて、仏教ソーシャルワークは日本のみならずそれぞれの国で歴史的背景を持ちながら連綿と現在に引き継がれ、更に未来への可能性を持ち得ていると感じています。そしてそれをどのように共有し、かつ深広させていく事ができるのかと考えたとき、本学会の果たすべき

役割は非常に重要だと思っております。
 一方、コロナ禍での混乱もありましたが、会員数の減少や学会活動の停滞、『年報』掲載の論文数の状況等、ある意味、本学会を取り巻く現状は深刻です。

この現状に向き合い、行うべき改革は行い、本学会を、日本を含めたアジアの国々の期待に副えるような組織に立て直していく事が私に課せられたミッションであると考えています。

その為には、理事・役員の方だけでなく、会員の皆様全てのご理解とご協力が不可欠であります。

今後会員の皆様には従来のご連絡以外にも様々な情報発信や、場合によっては本学会活性化に向けたご協力やお願い等も適時行っていきたくと考えています。

これからの3年間、何卒宜しくお願い致します。

令和4(2022)年度
 日本仏教社会福祉学会 報告

日本仏教社会福祉学会 事務局より

令和4(2022)年度は、理事役員改選の選挙の実施、初めての地域での開催となった宮城県女川町での大会など新たな試みもあった1年でした。

ここに、令和4年度の活動報告をいたします。

令和4(2022)年度日本仏教社会福祉学会
 第1回理事・役員会報告

日時：令和4(2022)年5月7日(土)16:00~18:00

場所：ZoomによるWeb会議

龍谷大学団体理事の長上会員が所属を退任されたため、児玉龍治会員が団体理事として出席となった。

1.出席の確認 出席 理事役員

清水海隆(代表理事) 石川到覚(理事) 池上要請(理事) 栗田修司(理事) 長崎陽子(理事) 藤森雄介(理事) 宮崎牧子(団体理事) 児玉龍治(団体理事) 梅原基雄(監事) 山口幸照(監事) 長谷川匡俊(名誉会員)、オブザーバーで事務局渡邊義昭会員が出席。

欠席理事役員

宮城(理事) 新保(理事)
 吉村(理事) 団体理事 渋谷(団体理事)

理事役員の過半数の出席により、理事役員規定に基づき会は成立。

2. 審議

第1号議案 会員の異動について

(1)会員の異動について

新規会員

(一般)

1. 城井健太郎(株式会社セファイドシステム)
2. 江島 直俊(田園調布大学)
3. 清水谷尚順(浅草寺福祉会館)
4. 小笠原亜矢里(武蔵野大学仏教研究所)

(学生)

1. 姜咨任(龍谷大学大学院社会学研究科) 5名の入会を承認

(2)退会会員の承認

1. 大森亮圭(浅草寺福祉会館) 1名の退会を承認

(3)会員数

個人会員 201名

内訳：・一般 187名

学生 6名・賛助5名・実践3名

団体会員 24団体

合計 225会員

第2号議案 令和3(2021)年度事業報告・同収支決算(案)について

(1) 令和3(2021)年度事業報告

1. 理事会・総会開催

・第1回理事会

2021(令和3年)4月24日 Zoonにて開催

・第2回理事会

2021(令和3年)10月2日 Zoonにて開催

・2021(令和3)年度総会

10月2日 Zoomにて開催

2. 年報刊行事業

『日本社会福祉学会』年報52号(未刊)

3 研究助成事業

・仏教社会福祉勉強会

COVID19流行のため未開催

・学会賞

対象期間：2021(令和3)年1月1日から

2023(令和)5年12月31日の刊行物

4. 学術大会開催事業

・第55回学術大会(京都・龍谷大学)

2021(令和3)年10月2日から3日実施

オンラインにて開催

大会テーマ：仏教における休息=課題と可能性=10月2日

11:00 物故者法要 導師井上見淳氏

12:00 ランチタイムミュージック

ネパールからオンラインライブ

モクタン・ママタ(カトマンズ本願寺 僧侶)

13:10 基調講演 銭湯のある暮らし
演者：松本康治氏（一般社団法人島風呂代表理事）
シンポジウム
仏教社会福祉実践における「休息」の意味

- シンポジスト
- ・五百井正浩氏（真宗大谷派玉龍寺 住職）
 - ・富和清隆氏（東大寺福祉事業団 理事長）
 - ・藤沢真理子（愛知東邦大学人間科学部 教授）
- コメンテーター
- ・小笠原慶彰（神戸女子大学健康福祉学部 教授）
- コーディネーター
- ・栗田修司（龍谷大学社会学部 教授）

17:00 総会
10月3日 自由研究発表
第1分科会

座長 伊東真理子会員（東京福祉大学社会福祉学部長・研究科長、同朋大学客員教授）
座長（PC担当兼）樽井康彦会員（龍谷大学社会学部教授）

- 1) 戦前期における里親制度の成立と発展
-大阪乳幼児保護協会の内規の整備過程から-
○菅田 理一（鳥取短期大学）
- 2) 学生による防災活動の意義と展望
-寄り添い・学び・ともに進む-
○三上 民喜（龍谷大学大学院社会学研究科科博士後期課程）
栗田 修司（龍谷大学社会学部）
- 3) 仏教寺院における「休息の場」になる可能性
-「サードプレイス」視座からの分析事例-
○趙 夢盈（大阪大学大学院人間科学研究科科博士後期課程）
- 4) ・saraṇamの解釈と仏教社会福祉的理解
○池上要靖（身延山大学）

第2分科会
座長 佐賀枝夏文会員（東本願寺青少幼年センター 研究員・大谷大学名誉教授）
座長（PC担当兼）児玉龍治会員（龍谷大学文学部教授）

- 1) 成人した無職の独身の子を持つ高齢者世帯へのアウトリーチと向社会性
-「無財の七施」からの分析-
○淡路 和孝（龍谷大学大学院社会学研究科科博士後期課程）
・栗田 修司（龍谷大学）
- 2) 60歳後半の若さで、右脳梗塞になり、左上下肢マヒが残ったC氏についての考察
○佐伯典彦（居宅介護支援事業所ハッピーウッド）
- 3) 映画鑑賞による回想と交流の場づくり
～“映画のひろば”の取り組みから～
○高橋知恵・大塚明子・金田寿世・渡邊智明・井手友子・大森亮圭（浅草寺福祉会館）・石川到覚（大正大学）
- 4) 浅草寺福祉会館における「総合相談」の可能

性③
～相談活動20年による主訴データの内容分析を中心に～

- 大塚明子・金田寿世・井手友子・渡邊智明・高橋知恵・大森亮圭（浅草寺福祉会館）・石田賢哉（青森県立保健大学）・石川到覚（大正大学）

5. 広報事業
 - ・ニュースレター第33・34号合併号
2022(令和4)3月31日付発行について報告
6. 研究担当理事（確認）
 - ・年報担当理事：栗田理事
『年報』52号を大会までに発刊
『年報』53号は年度内に発行予定
年報編集員会は、11月の大会時に開催
文献の書き方や表示方法、後方については現在検討中
 - ・『仏教社会福祉学研究史』担当：池上理事
 - ・ソーシャルワーク関係担当：藤森理事
 - ・仏教社会福祉勉強会担当：長上理事（西）・梅原理事（東）
令和3年度は、COVID19流行のため、十分な活動ができていなかった。

(2) 日本仏教社会福祉学会
令和3(2021)年度収支決算報告
清水代表理事より、本理事会での決算が未完了のため、審議については準備ができ次第監事監査をいただく予定。第2回理事会で報告とさせていただきます。
了承

第3号議案 令和4(2022)年度第56回学術大会
女川大会について

日時 平成4(2022)年11月19日から20日
会場 宮城県女川町まちなか交流センター
テーマ 「東日本大震災を越えて」
地域と寺院のあり方

令和4(2022)年度第56回大会（宮城県女川町）について大会実行委員会方式（日本仏教社会福祉学会・女川町社会福祉協議会・東北福祉大学）で開催、藤森理事から大会概要について説明。
大会日程として

11月19日午前 東日本大震災慰霊法要
物故者法要は、女川町仏教会がお引き受け頂くことをお願いしている。
於：女川町海岸広場（雨天時：女川町まちなか交流館 ホール）

10:20 基調講演
「女川いのちの石碑の取り組みと今後」
女川 1000 年後の命を守る会
主宰 阿部一彦氏

13:15 シンポジウム

非常時の寺院と地域のつながり（支援関係）」ではなく「平時の関係づくりの視点づくり」として～日常からつながるために～

・コメンテーター 園崎秀治氏（オフィス園崎代表）
シンポジスト

東日本大震災に際し地域支援実践仏教者として

- ・岩手県 高橋英悟氏（釜石仏教会事務局長）
- ・宮城県 八巻英成氏（女川町 保福寺住職）
- ・福島県 馬目一浩氏（浜〇かふえ元代表）
- ・コーディネーター

宮坂直樹氏 浄土宗総合研究所 研究員

16:30 総会

20日 午前分科会

午後震災遺構スタディツアーを予定。

了承

第4号議案 令和5(2023)年度第57回学術大会について

令和3年度は龍谷大学、西での開催、令和4年度は宮城県女川、東での開催ということで、令和5年度は中部地区での開催が望ましい。団体理事校でもある、同朋大学にお願いしたい。同朋大学の先生を經由し開催に向けての確認をしていく。

了承

第5号議案 理事選出選挙について

（任期：令和5（2023）年から令和7（2025年））

令和4年度は、理事選挙となる。事務局がその準備に当たる。規定に基づき選挙管理の流れを確認。代表理事より、選挙管理委員会に関する提案について下記の通り説明。

1. 選挙管理委員会の設置（規定2条）

理事 藤森理事

会員 渡邊義昭会員 馬場康徳会員

2. 選挙人・被選挙人の確定（規定3条）

3. 投票用紙の発送と投票（規定第5条）

4. 開票作業（規定第5条：）

了承

第6号議案 学会賞にかかわる動向について

学会賞奨励賞の決定は、選考委員会の推薦により、理事会として決定している。選考委員個人やその所属機関に対しての一会員からの非正規な対応について理事会として看過できない。代表理事が対応窓口となる。

了承

第7号議案 その他

次の理事会は、令和4年11月18日 午後3時より女川町まちなか交流館 会議室で開催。

理事役員より質疑はなく、理事会が終了。

令和4(2022)年度日本仏教社会福祉学会
理事選挙結果(任期：2023-2025年)について
報告

選挙管理委員会

令和4（2023）8月に、個人会員および団体会員に対して、理事選出選挙を実施。

有効投票、個人会員106票、団体会員24票であった。開票は、立正大学大崎キャンパス会議室にて、代表理事が立会い、選挙管理委員会藤森委員長、渡邊義昭会員、馬場康徳会員で開票作業を行った。

1) 投票結果

・個人会員（2票以上の投票があった上位者）

藤森雄介会員	16票	栗田修司会員	13票
石川到学会員	10票	宮城洋一郎会員	8票
清水海隆会員	6票	池上要靖会員	5票
郷堀ヨゼフ会員	5票	山口幸照会員	4票
長上深雪会員	3票	新保祐光会員	3票
谷山洋三会員	3票	梅原基雄会員	2票
佐々木隆夫会員	2票	渋谷哲会員	2票
長崎陽子会員	2票	林俊光会員	2票
吉水岳彦会員	2票	頼尊恒信会員	2票
15会員	1票（15票）	白票	1票

合計106票

・団体会員

淑徳大学	9票	大正大学	6票
龍谷大学	4票	5団体	1票（5票）

合計24票

投票結果は以上の通りとなった。投票結果を踏まえ、理事候補者を、11月開催の第2回理事会で決定し、総会の議に諮る。代表理事は、総会の承認を得た理事の互選によって選出する。監事は、理事会の推薦により決定。

令和4(2022)年度日本仏教社会福祉学会
第2回理事・役員会報告

日時：令和4年11月18日（金）15：00～17：00

場所：女川町まちなか交流館 会議室

1. 定足数の確認 代表理事より出席の確認
出席

代表理事 清水海隆会員

理事 石川到覚会員 藤森雄介会員

栗田修司会員

団体理事 児玉龍治会員 長崎陽子会員

監事 梅原基雄会員 山口幸照会員

名誉会員 長谷川匡俊名誉会員

事務局 渡邊義昭会員（オブザーバー）

欠席

理事 新保祐光会員 宮城洋一郎会員

池上要靖会員

団体理事

宮崎牧子会員 渋谷哲会員
吉村彰史会員



2. 議案

第1号議案 会員の異動について

入会会員の承認

会員の異動について

(1)入会会員の承認 (学生会員1名)

学生会員：張 白璐 龍谷大学大学院
栗田会員の推薦 学生会員として承認

(2)退会会員の承認 (一般6名・団体2名)

長期未納者については、年度内で再確認。
一般会員5名、団体会員2会員の退会申し出があった。

・一般会員

中村啓識会員 (ご逝去)
作田光照会員 野村康治会員
溪村真司会員 高橋マツ子 会員

・団体会員

京都文教短期大学 (会員不在のため)
駒澤大学 (会員不在のため)

(3)会員種別の変更の承認

実践会員
宮本雄司会員 (一般会員からの変更)
一般会員
井川裕覚 (学生会員からの変更)

(4)会員数の確認

個人会員 196名
内訳：・一般 183名
学生 6名・賛助6名・実践3名

団体会員 22団体
合計 218会員

第2号議案 日本仏教社会福祉学会

理事選出選挙結果

投票結果に基づき、理事候補の選出について協議した。投票上位者の、宮城会員、谷山会員から辞退の申し出があった。

代表理事より、理事会規定に関し、理事定数は18名/団体理事を含む。選挙による選出10名/団体(個人7名+団体3団体)、推薦による選出8名/団体以内となっていることの説明があった。また、本学会の会員数は200名程であり、理事候

補者について規定人数を満たさない数の候補者としたいと説明した。

なお、石川会員、宮城会員、梅原会員は、今年度理事会・総会において名誉会員に推薦の予定のため、理事候補としない旨の説明もあった。

選挙結果に基に、理事会推薦者を含む理事候補を次のように決定し総会に諮ることとした。

代表理事 藤森雄介会員 (淑徳大学)
理事 清水海隆会員 (立正大学)
理事 栗田修司会員 (龍谷大学)
理事 池上要靖会員 (身延山大学)
理事 長崎陽子会員 (龍谷大学)
理事 郷堀ヨゼフ会員 (淑徳大学)
理事 吉水岳彦会員 (浄土宗光照院)
団体理事 宮崎牧子会員 (大正大学)
団体理事 児玉龍治会員 (龍谷大学)
団体理事 渋谷哲会員 (淑徳大学)
団体理事 (武田悟一会員 (立正大学)
理事事務局担当 渡邊義昭会員 (東京YMCA)

なお、監事については理事会での決定事項となっている。11月19日に臨時理事会を開催。

監事 山口幸照会員 (高野山大学)

監事 長上深雪会員 (龍谷大学)

任期：2023・2024・2025年度

代表理事：藤森雄介会員

事務局：淑徳大学

第3号議案 令和3(2021)年度決算 (案)

(1)令和3(2021)年度事業報告 (案)

第1回理事会において報告済み

(2)令和3(2021)年度決算 (案)

第1回理事会では決算ができなかったため決算内容について、代表理事より説明。

(決算については次ページに掲載)

承認

第4号議案 令和5(2023)年度事業計画 (案) および令和5(2023)年度予算 (案)

(1)令和5(2023)年度事業計画 (案)

1. 理事会・総会開催

・第1回理事・役員会 令和5年4月下旬
オンライン会議 (ZOOM開催)

・第2回理事・役員会 令和5年11月2日 対面

・令和5年度総会 令和5年11月4日 対面

2. 年報刊行事業

・『日本仏教社会福祉学会年報』第54号
(令和6年3月末日発行予定)

3. 研究助成事業

・仏教社会福祉勉強会の開催

・学会賞募集

(対象期間：令和3/1/1~令和5/12/31分)

4. 学術大会開催事業

・第57回学術大会 同朋大学

(愛知・同朋大学稲葉地キャンパス)

開催日程：令和5年11月4日(土)-5日(日)

令和3年度 日本仏教社会福祉学会 収支決算書(案)

令和3年4月1日～令和4年3月31日(-4/14締)

収入の部				(単位:円)
項目	予算額	決算額	増・減(▲)	摘要
前年度繰越金	35,800	3,120,731	3,084,931	
個人会員費	1,515,000	1,990,000	▲215,000	
団体会員費	690,000			
貯金利子	1,000	28	▲972	ゆうちょ銀行口座利子(4/1・10円、10/1・10円、4/1・8円)
雑収入	50,000	150,097	100,097	年報売上費(令和2年度不足分+令和3年度)他
収入計	2,291,800	5,260,856	2,969,056	

支出の部				
項目	予算額	決算額	増(▲)・減	摘要
大会助成費	400,000	400,000	0	第55回大会助成(@龍谷大学) *残金は令和5年度決算で計上
年報刊行費	1,000,000	767,360	232,640	年報52号
研究費	100,000	0	100,000	勉強会講師御礼など
会議費	20,000	19,200	800	理事会会議費等(ZOOM使用料)
交通費	100,000	0	100,000	諸会議交通費等
通信運搬費	170,000	97,980	72,020	郵便及宅急便費(年報79,920+封書18,060)
事務費	50,000	10,000	40,000	文具消耗品
謝金	360,000	360,000	0	事務員謝金
雑費	5,000	1,957	3,043	振込手数料等(880+417+660)
学術会議分担金	30,000	30,000	0	日本社会福祉学系学会連合(令和3/12/1)
ホームページ維持費	33,000	33,000	0	国際文献社(令和4/4/14)
予備費	10,000	0	10,000	
支出計	2,278,000	1,719,497	558,503	

収支総合計				
項目	予算額	決算額	増・減(▲)	摘要
収入計	2,291,800	5,260,856	2,969,056	
支出計	2,278,000	1,719,497	▲558,503	
次年度繰越金	13,800	3,541,359	3,527,559	令和4年度へ

※学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)

大会テーマ：「仏教と生命倫理・死生学、高齢福祉分野、周辺の分野」

大会運営やテーマについては、今後学会事務局と調整しながら進めていく。令和5年の第1回理事会で、同朋大学担当者から報告をいただき、理事会として確認していく。

5. 広報事業
- ・ニューズレターの定期発行(2回)
 - ・ホームページの更新(随時)
- 事務局を窓口とする

6. 研究担当理事
- (新理事による理事会において決定する)
- ・年報編集担当：
 - ・『仏教社会福祉学研究史(仮)』担当
 - ・ソーシャルワーク関係担当
 - ・仏教社会福祉勉強会担当

(2)令和5(2023)年度予算(案)
代表理事より、予算案について説明。
(予算案については次ページに掲載)
承認

第5号議案
令和4(2022)年度第56回学術大会(女川大会)について

【大会テーマ】
「東日本大震災10年を越えて 地域と寺院の今後のあり方」

【大会日程】
令和(2022)年11月19日(土)・20日(日)

【大会会場】 宮城県 女川町まちなか交流館

【大会日程・概要】

《第1日目 11月 19日(土)》
(会場 女川町まちなか交流館 ホール)
9時 00分～受け付け開始
9時30分～東日本大震災被災者慰霊追悼供養並びに物故者法要(女川町仏教会)
於：女川町海岸広場(雨天時 女川町まちなか交流館 ホール)
10時00分～第56回学術大会開会式
10時20分～基調講演(公開)
「女川いのちの石碑の取り組みと今後」
女川1000年後の命を守る会(主宰：阿部一彦氏)
11時50分～昼休憩
13時15分～シンポジウム
「非常時の寺院と地域のつながり(支援関係)」ではなく「平時の関係づくりの視点づくり」として～日常からつながるために
コメンテーター 園崎秀治氏(オフィス園崎代表)
シンポジスト
岩手県 高橋英悟氏(釜石仏教会事務局長)

宮城県 八巻英成氏(女川町・保福寺住職)
福島県 馬目一浩氏(浜〇かふえ元代表)
コーディネーター

宮坂直樹氏(浄土宗総合研究所研究員)
16時30分～日本仏教社会福祉学会総会
於：女川町まちなか交流館 ホール

17時10分 終了予定
《第2日目 11月20日(日)》
(会場 女川町まちなか交流館)

令和5年度 日本仏教社会福祉学会 収支予算(案)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入の部				(単位:円)
項目	5年度予算	4年度予算	増・減(▲)	摘要
前年度繰越金	15,000	15,000	0	
個人会員費	1,500,000	1,519,000	▲ 19,000	一般8,000円×180口、賛助5,000×5、実践5,000×4、学生3,000×5
団体会員費	660,000	720,000	▲ 60,000	30,000円×22口
貯金利子	1,000	1,000	0	ゆうちょ銀行口座利子
雑収入	50,000	50,000	0	前年度大会返金・年報売上費等
収入計	2,226,000	2,305,000	▲ 79,000	
支出の部				
項目	5年度予算	4年度予算	増(▲)・減	摘要
大会助成費	400,000	400,000	0	第57回大会助成(◎同朋大学)
年報刊行費	1,000,000	1,000,000	0	年報54号編集経費
研究費	100,000	100,000	0	勉強会講師謝礼
会議費	20,000	20,000	0	理事会スーム使用料
交通費	70,000	70,000	0	諸会議交通費等
通信運搬費	130,000	170,000	▲ 40,000	郵便及宅急便費(レターパック+定型封筒3回)
事務費	50,000	50,000	0	文具消耗品代
謝金	360,000	360,000	0	事務員謝金
雑費	5,000	5,000	0	振込手数料
学術会議分担金	30,000	30,000	0	日本社会福祉学系学会連合
ホームページ維持費	33,000	33,000	0	国際文献社
理事選出選挙事務費	0	30,000	▲ 30,000	
予備費	28,000	37,000	▲ 9,000	
支出計	2,226,000	2,305,000	▲ 79,000	
収支総合計				
項目	5年度予算	4年度予算	増・減(▲)	摘要
収入計	2,226,000	2,305,000	▲ 79,000	
支出計	2,226,000	2,305,000	▲ 79,000	
次年度繰越金	0	0	0	

*学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)

8時45分～受け付け開始

9時00分～研究発表会 於：会議室

12時05分～特別報告 於：会議室

(研究発表終了後)

13時30分～被災地スタディーツアー

女川町・石巻市での震災遺構等を訪ねる

16時30分～17時00分 仙台空港で解散予定

第6号議案

令和5(2023)年度第57回学術大会について (案)

(1)大会テーマ

「仏教と生命倫理・死生学、高齢福祉分野、
周辺の分野」

(2)大会日程

令和5(2023)年11月4日(土)～5日(日)

(3)大会会場

同朋大学稲葉地キャンパス

(名古屋市中村区稲葉地町7-1)

(4)組織

大会長：目黒達哉会員 (社会福祉学部教授)

副大会長：村上逸人会員 (同准教授)

大会事務局長：岩瀬真寿美会員 (同准教授)

(5)概要

基調講演

ケネス田中武蔵野大学名誉教授 (アメリカ仏教を中

心とした大会テーマに関わるテーマ)

シンポジウム：「テーマ、現在調整中」

シンポジスト 仁愛大学：坂井祐円先生、関西福祉
科学大学：河村諒先生、同朋大学：村上逸人先生 (社
会福祉法人貴和会の特別養護老人ホームに関して)

具体的な内容について、令和4年4月の理事会にて報告。

承認

第7号議案 名誉会員の推薦について

(1)対象会員

・石川到覚会員

元本学会代表理事・大正大学名誉教授

・梅原基雄会員 監事として3期9年以上担った。淑徳
大学短期大学部名誉教授。

・宮城洋一郎会員 個人理事として3期9年以上 担っ
た。種智院大学社会福祉学科教授。

(2)「名誉会員推薦基準内規」

一 日本仏教社会福祉学会の名誉会員の推薦

基準は、「1」を満たした者の内、2または3の一
つ以上に該当するものと定める。

1. 推薦時の年齢が75歳以上の者。

2. 代表理事経験者。

3. 理事・役員の延べ在任期間において3期又は9

年以上の者。但し、理事は個人理事としての期間のみを計上する。

(3)現在の名誉会員 (参考)

桑原 洋子会員 (1931年生)

長谷川匡俊会員 (1943年生)

承認

令和4(2022)年度日本仏教社会福祉学会
臨時理事・役員会報告

日時：令和4年11月19日(金) 12:10~12:40

場所：女川町まちなか交流館 会議室

現理事及び理事候補者との臨時理事役員会

出席

代表理事 清水海隆会員

理事 石川到覚会員 藤森雄介会員

栗田修司会員

団体理事 児玉龍治会員 長崎陽子会員

監事 梅原基雄会員 山口幸照会員

名誉会員 長谷川匡俊名誉会員

新理事候補 郷堀ヨゼフ会員 吉水岳彦会員

事務局 渡邊義昭会員(新理事候補)

代表理事より 新旧理事役員の方にお集まりいただき、顔合わせおよび学会の新年度体制について話し合う場を設けた。本来なら総会後に承認された理事会の開催が規定ではあるが、大会日程や新体制に向けた準備などもあり、臨時で開催することになった。

昨日の理事会で新体制の方向性が示されたが、新理事候補の会員にも出席していただき、代表理事の選出をおはかりいただきたい。

本日から出席の新理事候補者を含め、代表理事の選出について選挙規定に則り、最多投票数の藤森雄介会員を理事の互選のもと代表理事として決定することになった。

承認

日本仏教社会福祉学会
令和4(2022)年度 総会 報告

日時：令和4年11月19日(土) 16:30~17:10

場所：女川町まちなか交流館 ホール

1. 議長の選出

総会規定に基づき、代表理事を議長に選出した。

2. 議案



第1号議案：令和3(2021)年度事業報告(案)および令和3(2021)年度決算(案)について

(1)令和3(2021)年度事業報告(案)

1. 理事会・総会開催

・第1回理事・役員会 令和3年4月24日
オンライン会議(ZOOM開催)

・第2回理事・役員会 令和3年10月2日
オンライン会議(ZOOM開催)

・令和3年度総会 令和3年10月2日
オンライン会議(ZOOM開催)

2. 年報刊行事業

『日本仏教社会福祉学会年報』第52号(年度内未完)
(令和4年7月10日発行)

3. 研究助成事業

・仏教社会福祉勉強会COVID19流行のため
引き続き未開催

・学会賞 募集期間外(*対象期間：令和3/1/1~
令和5/12/31分は、令和5年度に募集予定)

4. 学術大会開催事業

・第55回学術大会(京都・龍谷大学)

令和3年10月2日~3日、オンラインにて開催

テーマ：“仏教社会福祉活動における「休息」
の意味”

5. 広報事業

・ニューズレター第33・34号合併号
令和4年3月31日付発行

6. 研究担当理事

・年報編集担当：栗田理事

・『仏教社会福祉学研究史(仮)』担当：池上理事

・ソーシャルワーク関係担当：藤森理事

・仏教社会福祉勉強会担当：長上理事・梅原監事

(2)令和3(2021)年度決算(案)

第2回理事会に報告

第2号議案：令和5(2023)年度事業計画(案)および令和5(2023)年度予算(案)について

(1)令和5(2023)年度事業計画(案)

1. 理事会・総会開催
 - 第1回理事・役員会 令和5年4月下旬
オンライン会議 (ZOOM開催)
 - 第2回理事・役員会 令和5年11月2日
令和5年度総会 令和5年11月4日
2. 年報刊行事業
 - ・『日本仏教社会福祉学会年報』第54号 (令和6年3月末日発行)
3. 研究助成事業
 - ・仏教社会福祉勉強会の開催
 - ・学会賞募集 (対象期間：令和3/1/1～令和5/12/31分)
4. 学術大会開催事業
 - ・第57回学術大会 (愛知・同朋大学稲葉地キャンパス)
令和5年11月4日(土)-5日(日)
大会テーマ：「仏教と生命倫理・死生学、高齢福祉分野、周辺の分野」
5. 広報事業
 - ・ニュースレターの定期発行 (2回)
6. 研究担当理事 (新理事による理事会において決定する)

(2)令和5(2023)年度予算 (案)
第2回理事会にて報告

承認

第3号議案：理事選挙結果
(任期：2023-2025年)について

- ・個人会員 (2票以上の投票があった上位者)
- 藤森雄介会員 16票 栗田修司会員 13票
- 石川到学会員 10票 宮城洋一郎会員 8票
- 清水海隆会員 6票 池上要靖会員 5票
- 郷堀ヨゼフ会員 5票 山口幸照会員 4票
- 長上深雪会員 3票 新保祐光会員 3票
- 谷山洋三会員 3票 梅原基雄会員 2票
- 佐々木隆夫会員 2票 渋谷哲会員 2票
- 長崎陽子会員 2票 林俊光会員 2票
- 吉水岳彦会員 2票 頼尊恒信会員 2票
- 15会員 1票 (15票) 白票 1票

合計106票

- ・団体会員
- 淑徳大学 9票 大正大学 6票
- 龍谷大学 4票 5団体 1票 (5票)

合計24票

11月18日第2回理事会および19日の昼に開催され臨時理事会においてに、選挙規定に基づき新体制を以下の理事役員に引き継ぐことが確認された。

- 代表理事 藤森雄介会員 (淑徳大学)
- 理事 清水海隆会員 (立正大学)
- 理事 栗田修司会員 (龍谷大学)
- 理事 池上要靖会員 (身延山大学)
- 理事 長崎陽子会員 (龍谷大学)
- 理事 郷堀ヨゼフ会員 (淑徳大学)
- 理事 吉水岳彦会員 (浄土宗光照院)

- 団体理事 宮崎牧子会員 (大正大学)
 - 団体理事 児玉龍治会員 (龍谷大学)
 - 団体理事 渋谷哲会員 (淑徳大学)
 - 団体理事 (武田悟一会員 (立正大学)
 - 事務局担当理事 渡邊義昭会員 (東京YMCA)
- 以上の新役員体制についておはかりしたい。
なお、監事については理事会での決定事項となっており、11月19日の臨時理事会で監事の選出をした。
- 監事 山口幸照会員 (高野山大学)
 - 監事 長上深雪会員 (龍谷大学)
- 任期：2023・2024・2025年度
代表理事：藤森雄介会員
事務局：淑徳大学

承認

3. 報告事項
 - (1) 会員の異動について
 - 1) 入会会員
一般会員
①城井健太郎 (株式会社セファイドシステム・生活相談員)
 - ②江島 尚俊 (田園調布学園大学人間福祉学部・講師)
 - ③清水谷尚順 (浅草寺福祉会館・主任)
 - ④小笠原亜矢里 (武蔵野大学仏教文化研究所・研究生)
- 学生会員
 - ①姜咨任 (龍谷大学大学院)
 - ②張 白璐 (龍谷大学大学院)
- 2) 退会会員の承認 (一般5名・団体2名)
一般会員
中村 啓識会員 (ご逝去)
作田 光照会員 野村 康治会員
溪村 真司会員 高橋 マツ子会員
- 1 大森亮圭 (浅草寺福祉会館)
- 団体会員
京都文教短期大学 (会員不在のため)
駒澤大学 (会員不在のため)
- 3) 会員種別の変更の承認
実践会員 宮本雄司会員 (一般会員からの変更)
一般会員 井川裕覚会員 (学生会員からの変更)
- 4) 会員数の確認
個人会員 196名
内訳：・一般 183名
学生 6名・賛助6名・実践3名
団体会員 22団体
合計 218会員
- (2) 報告事項 名誉会員の推薦について
名誉会員推薦基準内規に基づき、理事会は下記の会員を名誉会員として推薦した。
- 1) 対象会員
①石川到覚会員 (1947年生)
元本学会代表理事) (大正大学名誉教授)

- ②宮城洋一郎会員（1947年生）（種智院大学教授）
- ③梅原基雄会員(1947年生)（淑徳短期大学名誉教授）
- 2) 「名誉会員推薦基準内規」
 - 一 日本仏教社会福祉学会の名誉会員の推薦基準は、「1」を満たした者の内、2または3の一つ以上に該当するものと定める。
 - 1. 推薦時の年齢が75歳以上の者。
 - 2. 代表理事経験者。
 - 3. 理事・役員との延べ在任期間において3期又は9年以上の者。但し、理事は個人理事としての期間のみを計上する。
- 3) 現在の名誉会員（参考）
 - 桑原 洋子会員（1931年生）
 - 長谷川匡俊会員（1943年生）

- (3) 報告事項
 - 令和5(2023)年度第57回学術大会について
 - 1) 大会テーマ：「仏教と生命倫理・死生学、高齢福祉分野、周辺分野」
 - 2) 大会日程：令和5(2023)年11月4日(土)～5日(日)
 - 3) 大会会場：同朋大学稲葉地キャンパス
(名古屋市中村区稲葉地町7-1)
 - 4) 組織： 大会長：目黒達哉 社会福祉学部教授
副大会長：村上逸人 同准教授
大会事務局長：岩瀬真寿美 同准教授
 - 5) 概要：
 - 基調講演：ケネス田中武蔵野大学名誉教授
 - アメリカ仏教を中心とした大会テーマに関わるテーマシンポジウム：「テーマ 未定」
 - シンポジスト 仁愛大学：坂井祐円先生
 - 関西福祉科学大学：河村諒先生
 - 同朋大学：村上逸人先生（社会福祉法人貴和 会の特別養護老人ホームに関して）

議長より、審議事項の確認、報告事項について説明があり、総会を終了とした。 終了17時10分



**令和4（2022）年度日本仏教社会福祉学会
第56回学術大会 大会**
大会テーマ 「東日本大震災10年を越えて」
地域と寺院の今後のあり方
【日程】2022(令和4年)年11月19日(土)・20日(日)
【会場】宮城県 女川町まちなか交流館
【大会日程】
第1日目 11月19日(土)
(会場 女川町まちなか交流館 ホール)
9時30分から

東日本大震災被災者慰霊追悼供養並びに物故者法要
今回の物故者法要は、女川町仏教会がお引き受け頂きました。
導師 女川町仏教会 照源寺 三宅哲也住職
於：女川町海岸広場



10時20分 第56回学術大会開会式 於：ホール



10時40分 基調講演（公開講座）
「女川いのちの石碑の取り組みと今後」
女川1000年後の命を守る会 主宰 阿部一彦氏



午後13時15分 シンポジウム
 テーマ「非常時の寺院と地域のつながり（支援関係）」
 ではなく「平時の関係づくりの視点づくり」として
 ～日常からつながるために～



シンポジスト

東日本大震災に際し地域支援実践仏教者として

- ・岩手県 高橋英悟氏 釜石仏教会事務局長



- ・宮城県 八巻英成氏 女川町 保福寺住職



- ・福島県 馬目一浩氏
 災害支援ネットワークIwaki (DSNI) 会長



コメンテーター 園崎秀治氏 オフィス園崎代表
 （元社会福祉法人全国社会福祉協議会地域福祉部全
 国ボランティア市民活動振興センター副部長）



コーディネーター（司会・進行） 宮坂直樹氏
 浄土宗総合研究所研究員



シンポジウム 登壇者



第2日目 11月20日(日)

(会場 女川町まちなか交流館 会議室)

午前 9時00分 研究発表会

9時00分～

非常時対応から読み解く仏教ソーシャルワークの特徴
-コロナ禍のアジア諸国の活動事例のレビューを
基に-

郷堀ヨゼフ会員

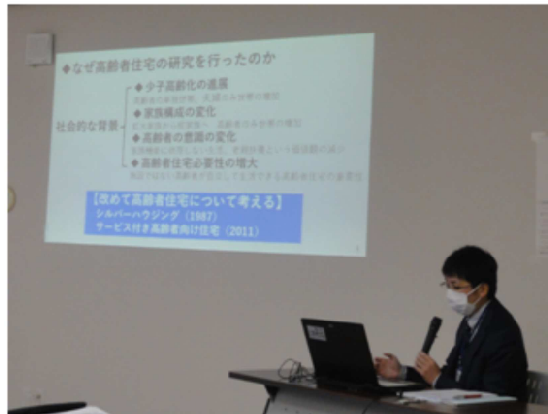
(淑徳大学アジア国際社会福祉研究所)



9時30分～ 居住継続意向と人とのつながり

馬場康徳会員

(田園調布学園大学/浦和大学/聖学院大学 兼任講師)



10時00分～ 衆生利益の条件

『十地経』第五地における衆生救済の実行について

長崎 陽子会員 (龍谷大学)



10時30分～ 藤田清「仏教カウンセリング」についての一考察

児玉 龍治会員 (龍谷大学文学部)



11時05分～ Planetary Healthと地域寺院の取り組み
—サン・パウロ宣言の視点から—

小笠原亜矢里会員 (武蔵野大学仏教文化研究所)



11時35分～ 関東大震災と浅草寺社会事業

～“浅草寺婦人相談宿泊所”の創設を中心に～

○金田寿世会員 (浅草寺福祉会館)

大久保秀子会員 (浦和大学)

石川到覚名誉会員

(大正大学)

(浅草寺福祉会館)・高橋知恵会員

渡邊智明会員

井手友子会員

大塚明子会員

清水

谷尚順会員



12時15分～ 特別報告

「仏教社会的実践活動プラットフォーム(仏教プラットフォーム)」のリニューアルと今後の活用について

藤森雄介会員・郷堀ヨゼフ会員
(淑徳大学アジア国際社会福祉研究所)



発表会場 フロアー

2日間の大会場面のスナップショットでした。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。



午後 被災地スタディツアー バスにて移動
女川町、石巻市での震災遺構等を訪ねる
(女川町地域医療センター
海拔17メートルを超えて津波到着)



震災遺構：石巻市旧門脇小学校



日本仏教社会福祉学会

令和5(2023)年度 第1回理事・役員会

日時：令和5年4月29日(土) 15:30~17:30

場所：オンライン会議 (Zoom)

1. 定足数の確認 出席状況確認

出席

代表理事 藤森雄介会員

理事 清水海隆会員 栗田修司会員

長崎陽子会員

団体理事 宮崎牧子会員 児玉龍治会員

渋谷哲会員

監事 山口 幸照会員 小笠原慶彰会員

理事事務局 渡邊義昭会員

名誉会員 長谷川匡俊名誉会員

名誉会員 石川 到覚名誉会員

欠席 (議長に委任)

理事 池上要靖会員 郷堀ヨゼフ会員

吉水岳彦会員

団体理事 武田悟一会員（清水理事に委任）
 オブザーバー 岩瀬真寿美会員 目黒達哉会員
 村上逸人会員
 理事役員の過半数の出席



理事会規定により、代表理事を議長として選出

2. 代表理事より

新体制についての方向性と、理事の方々には担当業務を一つ以上お願いしたい。コロナ禍以降の会の活性化を図っていくため理事の役割をこれからお願いしたいと考えている。

本日は、本年度の大会校である、同朋大学の実行委員会の方にお越しいただいている。最初に、大会校より大会の概要についての説明から進めていく。

3. 議案

第1号議案：令和5（2023）年度大会について
 同朋大学大会事務局目黒達哉会員より

2023年度日本仏教社会福祉学会大会の準備報告

1 テーマ

- (1) 大会テーマ：仏教的死生観の現代的意義
- (2) 基調講演テーマ：社会に活かされるアメリカ仏教 死生学・高齢者福祉・エンゲージメント
- (3) シンポジウムテーマ：

仏教はいかに高齢者福祉に貢献できるか

2 スケジュール

開催期日 2023年11月4日（土）・5日（日）

場所：同朋大学

【1日目】

9:30～（30分間）物故者法要

10:00～開会式

10:20～（1時間半）

基調講演 ケネス田中先生(武蔵野大学名誉教授)

11:50～昼食 休憩

13:15～13:20（5分間）

シンポジウム趣旨の説明（伊東眞理子先生
 （本学会員・東京福祉大学））

13:20～13:50（30分間）

坂井祐円先生（本学会員・仁愛大学）

13:50～14:20（30分間）

河村諒先生（本学会員・愛知県立大学）

14:20～14:50（30分間）

村上逸人先生（本学会員・同朋大学）

（20分間の小休憩）：フロアからの各シンポジストへの質問用紙を記入・回収

15:10～15:45（35分間）伊東眞理子先生によるまとめ

（16:00～総会）

【2日目】午前：研究発表会

3 大会運営体制

同朋大学 目黒達哉（2023年度大会長）

同朋大学 村上逸人（2023年度副大会長）

東京福祉大学 伊東眞理子（2023年度大会連携委員）

同朋大学 岩瀬真寿美（2023年度大会事務局）

事務局より 学会事務局では、2月に同朋大学に訪問し大会の準備に関して打ち合わせ行ってきた。

連絡を取り合いながら進めていきたい。

代表理事より、学会事務局と連携を取りながら

大会に向けた準備を進めていくことが確認された。

承認

第2号議案：会員の異動について

(1)入会会員の承認

新規入会会員の申し出なし

(2)退会会員の承認

大西雅裕会員（神戸女子大学）

(3)会員種別の変更の承認

新規入会会員の申し出なし

(4)会員数の確認（2023. 4. 28現在）

承認後の会員数

個人会員

一般会員A 171名 学生会員G 8名

実践会員 J 5名 賛助会員 S 6名
 名誉会員 M 5名
 小計 195名
 団体会員 22団体
 会員総計 217会員

承認

第4号議案 令和4(2022)年度事業報告・決算(案)について

前代表理事より、令和4年度の決算報告があった。決算の監査は、前年度の監事となる。監事

の報告は、理事会後の郵送にて持ち回り監査となることをご承諾いただきたいと報告があった。
承認

第4号議案：新体制について

藤森代表理事より、2023年度からの理事役員の業務担当について提案があった。監事について、昨年度女川での臨時理事会において長上深雪会員を監事としてお願いすることになっていたが、ご辞退の申し出があった。西地区からの監事ということで、元理事で学会運営に明るい

理事会 役員名簿 学会運営分担(案)

2023(令和5)年4月1日より2026(令和8)年3月31日まで

◎は主担当

	役職	お名前	ご所属	分担1	分担2
1	代表理事	藤森 雄介	淑徳大学	庶務	大会担当
2	理事	清水 海隆	立正大学	◎研究	将来構想
3	理事	栗田 修司	龍谷大学	副代表(◎将来構想)	年報担当
4	理事	池上 要靖	身延山大学	国際	研究(専門書籍)
5	理事	長崎 陽子	龍谷大学	◎年報担当	将来構想
6	理事	郷堀コヰ	淑徳大学	◎国際	研究
7	理事	吉水岳彦	浄土宗光照院	研究	将来構想
8	団体理事	宮崎 牧子	大正大学	研究	
9	団体理事	児玉龍台	龍谷大学	研究	
10	団体理事	渋谷 哲	淑徳大学	日本社会福祉系学会連合	
11	団体理事	武田悟一	立正大学	研究	
12	監事	山口 幸照	密教福祉研究所		
13	監事	小笠原慶彰	神戸女子大学		
14	理事 事務局	渡邊義昭	淑徳大学/東京YMCA	◎庶務(広報含)	◎大会担当

令和4(2022)年度 日本仏教社会福祉学会 収支決算書(案)
 令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和5(2023)年4月30日 訂正版

収入の部

項目	予算額	決算額	増・減(▲)	摘要
前年度繰越金	15,000	3,541,359	3,526,359	令和3年度決算額
個人会員費	1,519,000	2,352,030	113,030	一般@8,000、賛助@5,000、実践@5,000、学生@3,000
団体会員費	720,000			団体@30,000
貯金利息	1,000	21	-979	郵貯口座利子(令和4年10月、令和5年4月)
雑収入	50,000	531,527	481,527	第55回大会残379,277、年報売上152,250
収入計	2,305,000	6,424,937	4,119,937	

支出の部

項目	予算額	決算額	増・減(▲)	摘要
大会助成費	400,000	400,000	0	第56回大会(宮城県女川町)
年報刊行費	1,000,000	672,883	-327,117	年報52号(令和4年9月刊)
研究費	100,000	0	-100,000	未開催
会議費	20,000	6,600	-13,400	理事会等zoom利用料@2,200*3月
交通費	70,000	25,660	-44,340	第57回大会打ち合わせ(同朋大学・名古屋)
通信運搬費	170,000	175,342	5,342	郵送料・宅配料金
事務費	50,000	12,440	-37,560	文具消耗品
謝金	360,000	360,000	0	事務局員謝礼(@110,000*2、@70,000*2)
雑費	5,000	4,326	-674	振込手数料(@146+660*5+880)
学術会議分担金	30,000	30,000	0	日本社会福祉系学会連合年会費
ホームページ維持費	33,000	33,000	0	国際文献社
理事選出選挙事務費	30,000	30,000	0	開票実務日当(@10,000*3)
予備費	37,000	0	-37,000	未執行
支出計	2,305,000	1,750,251	-554,749	

収支総合計

	予算額	決算額	増・減(▲)
収入計	2,305,000	6,424,937	4,119,937
支出計	2,305,000	1,750,251	-554,749
次年度繰越金	0	4,674,686	

* 学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)
 **郵貯通帳¥4,332,803+現金341,883=¥4,674,686

小笠原慶彰会員にお願いすることとした。ご承認いただきたい。(承認)

また、理事の方々の担当について、「研究」、「将来構想」、「年報」、「国際」、「庶務・大会担当」とそれぞれ役割を担ってもらいたいと考えている。

具体的な、内容については主担当の理事の方と調整していきたい。

第5号議案：令和6年度大会について

令和6年度は西地区での開催ということで、真言宗善通寺派宗務庁(善通寺：香川県)での開催について検討していきたい。

4. 報告事項

1) 年報編集委員会・査読委員会(令和4年度)

栗田理事

・令和4年度 活動進捗状況報告

①『年報』53号の発行について。半年遅れで始まり、現在、一部印刷中。

②『年報』54号の発行について。投稿原稿1本あり。投稿期間延長の必要あり。

・令和5年度 事業・活動予定

①『年報』53号発行を。夏頃をめどに完成できるように引き継ぐ。

②『年報』54号発行について引き継ぐ。海外情報、図書紹介、資料紹介、施設紹介の依頼も引き継ぐ。

③年報編集委員会の開催について引き継ぐ。

④文献の書き方などについての広報に関して引き継ぐ。

2) 上原会員に関して

前代表理事より、上原会員からの質問状を受け取ったと報告があった。

3) その他

次回の理事会開催は、令和5年11月3日(金)に同朋大学での開催となる。

17時30分終了

お知らせ

会員の登録情報の更新のため 会員情報の確認(お願い)

現在、会員各位の登録情報更新のため、会員情報の確認を行っております。

事務局では、会員様のご住所、電話番号、メールアドレス、ご所属などのデータ更新を行っておりますが、ご所属の異動など前年度からか

わっている場合もあるかと存じます。

つきましては、変更がある場合、FAXあるいはメールでご連絡いただきたくお願いいたします。

事務局 編集後記

ニュースレターの発行が遅れて、会員の皆様に迅速な学会情報の提供が十分できなかったことをお詫びいたします。

昨年度は、3年ぶりの対面開催できたことをうれしく思います

学会大会を、宮城県女川町社会福祉協議会、東北福祉大学、淑徳大学アジア国際社会福祉研究所が実行委員会を組織して開催することができました。また、女川町仏教会による震災被災者慰霊追悼供養をいただくなど、多くの関係者のご協力で無事終えることができました。

また、令和4(2022)年度、理事改選の選挙があり新役員体制の下、事務局としても理事役員の方々の円滑な学会運営ができるよう対応させていただきたいと考えております。

11月には、名古屋の同朋大学にて学会大会開催に向け、大会開催校と準備を進めているところです。

会員の皆様の協力と支えがあつての学会であります。

ご質問やご不明なことがあれば下記の学会事務局・アドレスまでご一報ください。どうぞ、宜しくお願い致します。

事務局

日本仏教社会福祉学会

事務局メールアドレス

E-mail info.absws@gmail.com

令和5(2023)年度からの新事務局

〒260-8701

千葉県千葉市中央区大巖寺町200

淑徳大学

アジア国際社会福祉研究所

アジア仏教社会福祉学術交流センター内

日本仏教社会福祉学会事務局

TEL 043-265-9879 FAX 043-265-7339

※事務局の対応案内

電話の場合は、研究所職員が対応いたします。

学会事務局担当者は常駐しておりませんので、メールでの問い合わせが確実です。